

<第三種郵便物認可>

地域ニュース

犠牲者の思い知って 生命のメッセージ展

大和郡山



命の大切さを訴える「生命の
メッセージ展」＝大和郡山市

犯罪や事故など理不尽な理由で亡くなった犠牲者の等身大の人型オブジェを展示し、命の大切さを訴える「生命のメッセージ展」が、大和郡山市の柳町商店

街内で4月4日まで開かれている。同商店街や同市教委などが主催。会場には事故などで亡くなった約30人の人型オブジェを展示し、写真や

亡くなった経緯、遺族の言葉を添え、愛用の靴を足元に置いている。

交通事故防止などに取り組むNPO法人「KENTO」も同展に協力。児島早苗代表(70)は、平成12年に長男の健仁さん(当時18歳)を交通事故で亡くした。児島さんは、「生きたくても生きられなかった人たちの思いを知ってほしい。生きられることの幸せを感じてもらいたい」と話している。

6日に行われた同展の「プレ開催」に、家族とともに訪れた和歌山県新宮市の中尾貴恵さん(55)は、「小さな子供のものもあり、悲しみが胸に迫った」と話し、見入っていた。

午前10時～午後5時まで無料。問い合わせは大和郡山市人権施策推進課(0743・53・1151)。